



上の写真は壊滅的被害を受けた「つきあかり」。安塚区上方にて31日撮影。下は大島区旭地区の田んぼ。畔近くのイネが枯れ始めていました。



今後、議員団は市議会などで救済策を求めています。なお、30日の調査には平良木前市議も参加しました。

中山間地中心に広がる干ばつ被害 被災農家からは、「死活問題だ。何とかして」の声

上越市でも干ばつ被害が深刻になってきました。中山間地の天水田では地割れが始まり、「こしいぶき」「つきあかり」などの早生品種を中心に枯死寸前の状態のところも出てきています。

こうした中、日本共産

党議員団は7月30日、31

日と大島区、牧区、吉川

区などに入り、現地調査

を行いました。現地では、

「10日から雨は一滴も降っていない。こしい

ぶきは全滅し、死活的な

問題だ」（安塚区）など

の声が農家から寄せられ

ました。

今後、議員団は市議会

などで救済策を求めています。

なお、30日の調査には平良木前市議も参

加しました。



上の写真は吉川区坪野地内。下は牧区大月にて撮影。



下の写真は浦川原区法定寺にて撮影。



【ヤグルマソウ】ユキノシタ科の多年草。漢字で「矢車草」と書きます。花は6～7月に咲きます。最初は緑白色、後に白色の花になります。花言葉は「清楚」「幸福感」。安塚区にて撮影。

県消防大会、健闘するも
入賞ならず

新潟県消防大会ポンプ操法競技が29日、胎内市で行われ、関係町内会の人たちなどとともに応援に行っていました。

上越市からは吉川方面隊尾神分団が小型ポンプ操法に、ポンプ車操法には全国大会にも出た経験のある上越方面隊第3分団が出場しました。競技の結果、どちらも健闘したのですが、入賞はできませんでした。

写真は尾神分団の小型ポンプ操法。



はしづめ法一の
活動レポート

No.1869 2018.8.5

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五一七回

顔写真

笑ってしまいました。先日、柏崎市に住む義母を訪ねたときの事です。自分の顔写真にふれて使った義母の言葉が、思いがけないもので、しかも楽しいものだったからです。

義母の部屋で、私が「お母さんの誕生日って、いつでしたっけ」と尋ねると、妻がカレンダーを見て、「二八日だったよね」と言いました。義母はそのとき、カレンダーの方を見て、「私にそっくりなんだわ」と言ったのです。

カレンダーの脇には義母の顔写真が貼ってありました。プレゼント用に飾りつけがしてありましたから、デイスリーブでスタッフの方から撮ってもらったのでしょう。義母はその写真を見て、「そっくり」発言をしたのです。義母の言葉を聞いて、部屋にいたみんなが笑いました。

人間の顔写真は、どんな顔をしていようと、シャッターを押した瞬間の表情をとらえています。ですから、どの瞬間のものであれ、自分の顔そのものです。もともと、目を極端に大きくあけたりして、わざと普段とは違う顔をつくろうとすれば「自分とは違った感じ」にはなりますが……。どうあれ、壁に貼ってある顔写真は、義母の思い通りの写り方になっていたのだと思います。

離れたところから義母の顔写真を見ていた私は、どんな表情で写っているのか確かめてみたくなり、ベッドのそばの壁まで近づきました。すぐそばで見ると、少し緊張した四角い顔が写っていました。間違いなく、義母に「そっくり」でした。

率直に言うとう、表情に少し硬さが残っていたものの、さっぱりした顔で、とても元気そうに見えました。私が写真をまじまじと見ていると、義母が「笑おうとしたんだ

でも」と言いました。言われてみれば、頬のあたりがそういう動きをしようとしていたようにも見えました。

義母の「そっくり」発言を聞いて、思い出したのは母の言葉です。母もまた、自分の顔について、同じことを言うようになっていました。

私はここ数年、母の写真を出来るだけ撮ろうと心掛けていますが、その多くは顔写真です。最近は顔を撮ると、母はどんな顔になっているかがとても気になるようです。いまでも使われているカメラは、フィルム撮りカメラと違って、写り具合をすぐに確認できます。そのことを母も十分知っていて、「どら、見してくれ」と催促するようにになりました。

自分の顔写真を見ると、母は必ず、「オレ、ばちゃだなあ」と言って笑います。真つ白な髪、額（ひたい）や目の周り、口元などに皺（しわ）がたくさんあります。とくに九〇歳を超えているのですから、たくさんの皺があっても普通のことです。でも、写真で見ると、自分が考えている以上に年をとっている。つい「オレ、ばちゃだなあ」と言ってしまうのでしょうか。

母と義母はともに一九二四年（大正一三）生まれ。母の方が義母よりも四か月ほど早いのですが、それぞれ連れ合いを亡くし、家族の中で生きていることは共通です。この二人が自分の顔についてそれぞれ気にかけていて、自分の言葉でちよこつと語る。偶然とは思えない何かを感じます。

義母を訪ねた夜は柏崎の花火の日でした。柿崎の峠から山を越えて行くと、佐水あたりから花火の開いた様子が見えるようになりしました。帰り道では新道あたりが一番よく見えました。パツと開き、少し間をおいてドーン。車にずしんと響きました。

西山英夫さんの切り絵作品

直江津は石橋の食堂「あひる」で展示されている西山英夫さんの切り絵作品のひとつ。手拭いでほっかむりしたじいちゃんと孫。かつてはあちこちでこういう光景を見かけたもんです。



大島よんご提灯まつり

地元の中学生在が復活させました。ユウガオを使った提灯まつり。「これはユニークだ」と注目を集めています。新潟妖怪研究所の高橋郁丸さんの妖怪講演もよかった。上越市内各地の民話、昔話に登場する妖怪たち、いるんですね。

吉川区の新平和橋に橋げた

ようやくかかりました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016～0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月25日(水)	8月1日(水)
上越南消防署	0. 0 4 3	0. 0 4 7
上越北消防署	0. 0 4 7	0. 0 4 7
新井消防署	0. 0 4 7	0. 0 5 0
頸北消防署	0. 0 5 0	0. 0 4 7
頸南消防署	0. 0 6 0	0. 0 4 7
東頸消防署	0. 0 4 0	0. 0 5 0
高士分遣所	0. 0 5 0	0. 0 4 3
名立分遣所	0. 0 4 7	0. 0 5 7